

2 取り組み企業の声



大阪新阪急ホテル レストラン部長

職業能力評価シートを使ってチェックを行うことで、マネジメント層であっても自分の仕事ぶりを細かく振り返り、「課題」を再認識・発見することができる。職業能力評価シートは、高度な業務を担っている従業員にも対応した、スキルアップのための強力なツールである。今後は、組織全体の強み・弱みの傾向を把握することで、現場改善の取り組みへの反映などに活かしていきたい。



三井ガーデンホテル銀座プレミア 総支配人

職業能力評価シートにより日々のサービス状況をチェックし、「強み」「弱み」を明確にすることは、「どうやったら強みを伸ばしていくのか」を一人ひとりが真剣に考えることに繋がるため、能力開発に大変有効である。発見した課題に対して、複数のスキルアップ目標を設定するなど、OJTコミュニケーションシートの運用をレベルアップすることでより有効なツールとして活用することが可能であると思われる。

ユアサ・フナショク株式会社 ホテル事業部長

昨今はアルバイト・パートの方に日々のオペレーションを任せることが多くなっている。その中でキャリアマップを利用し、キャリアステップを踏んでいくために必要な経験や知識の区分けを明確することは、従業員のモチベーション向上のためにも大変有益なことであると思う。最近は、異なる業界からホテル業界への中途入社を目指す人も多くおり、そのような方々の中途入社時のスキルチェックのためのツールとしても職業能力評価シートは大変有用だと思う。



芝パークホテル 支配人

今まででは若手の人才培养はどうしてもOJT中心となりがちであった。そのような中で職業能力評価シートを使用したスキルチェックを行い、「何ができる、何ができないか」を明らかにできたことは、若手のスキルアップ意識を刺激させる意味では大変役に立った。



ホテルニューグランド 宿泊部長

職業能力評価シートはとても良くできており、実際に業務の中で指示している内容が多分に含まれていた。今まででは口頭での指導が中心であったが、このように明文化されたチェックシートがあることで、本人の理解も進んだようである。評価者が、また、下位者のシート内容を熟知しておくことで、OJTにおける教育・指導でも分かりやすい説明ができるようになると思われる。

